

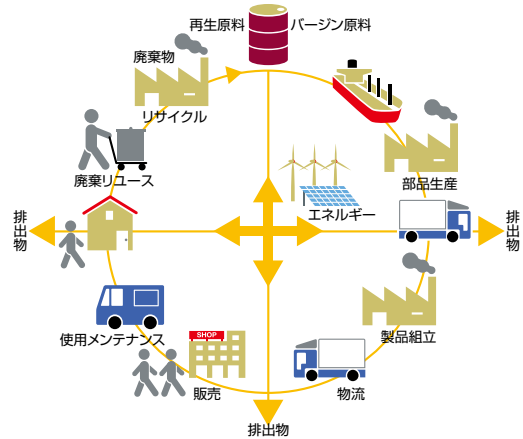
秋田大学・秋田県立大学大学院共同教育課程共同ライフサイクルデザイン工学専攻

共同大学院は、秋田大学大学院工学資源学研究科の特徴である資源・環境・リサイクルなどの研究分野と秋田県立大学大学院システム科学技術研究科の特徴である経営工学研究分野の「強み」を融合し、機械・電気・情報工学などの共通する研究分野を包括した『共同専攻』として、製品の企画設計からリサイクルや廃棄に至るライフサイクルデザイン工学を体系化し、資源・環境工学から経営工学に及ぶライフサイクルデザインの広範囲で高度な知識を持つ『環境負荷の低減、循環型社会の形成に重要な役割を担う人材』を養成するものです。

近年、高度に発展を続ける現代社会においては、従来の枠組みでは対応しきれない新たな課題が多く見られるようになってきました。特に、環境に関連する要求が顕著になり、環境負荷の低減などの問題が日増しに強くなってきています。

昨今の社会情勢の変化は、化石燃料やレアアース等の大半を輸入に頼っている我が国においては無視できない問題になる可能性があり、循環型社会の形成という課題は、今後さらに重要な意味を持つてくるものと思われまます。共同専攻は、このような社会的ニーズを考慮して設置されたものであり、国際的な視点から循環型社会の形成に貢献する人材の育成、及び環境に配慮しつつ地域社会の活性化に貢献する人材の育成を目標とするものです。

ライフサイクルデザインの概念図



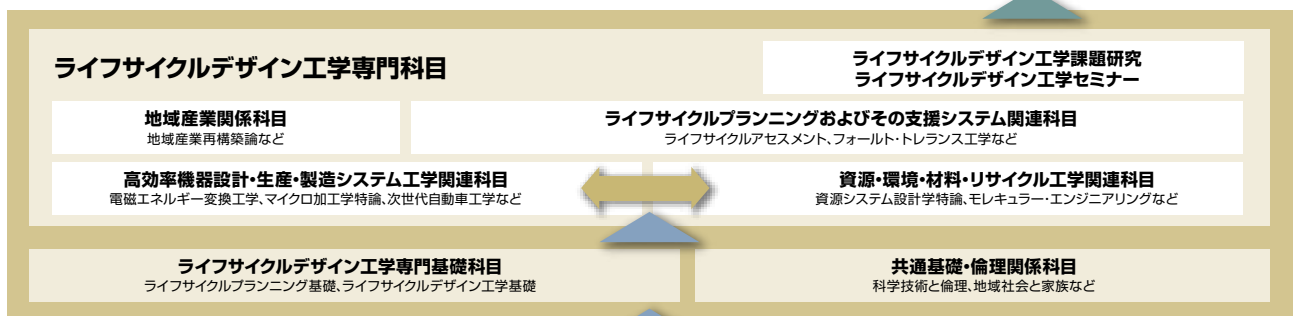
ライフサイクルデザイン(LCD)工学とは？

資源の採掘、製品の企画・設計から廃棄・リサイクルに至るまでの「ライフサイクル」において、環境負荷の低減を考慮する工学の一分野です。両大学の機械、電子・情報系、秋田大学の資源環境、応用化学、土木系、秋田県立大学の建築、経営系の領域が融合した新しい工学です。工学の複合的な分野、境界を越えた分野を学ぶことで、循環型社会の形成に貢献する人材、環境に配慮しつつ地域社会の発展に貢献する人材等、産業社会における諸問題に対処できる人材の育成を目指しています。

共同専攻の概要

【共同ライフサイクルデザイン工学専攻】

国際的な視野から、循環型社会の形成に貢献する人材
環境に配慮しつつ、地域産業の活性化に貢献する人材



高専専攻科修了生を含む、電気電子・情報系、機械系、材料系、土木建築系、経営系などの多様な学生

【大学院博士前期課程組織図】

